

留学先大学： University of Queensland
 留学先での所属学部・研究科： 無し
 留学先での在籍身分： Incoming Exchange Student
 留学期間： 2014 年 3 月～ 2014 年 11 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 工学部
 学年（出発時）： 3
 本報告書記入日： 2015 年 01 月 04 日

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	前期					
2	AUST1000	David Carter	2	2	100	オーストラリアの歴史についての授業で、Essayのみでの評価。予習、復習は必ず必要。内容が高度でEssayの採点も厳しい。
3	RELN1000	オムニバス形式	3	2	150	世界の宗教に関する授業。Essayのみでの評価。予習のみ必ず必要。
4	WRIT1001	Lucy Fraser	3	2	80	Academic Writingの書き方に関する授業。Essayのみでの評価。復習が必要。
5	後期					
6	ENGG1400	Dilum Fernando	4	2	300	予習、復習必要。課題と最終テストで主に評価される。
7	ENGG1500	Tony Howes	5	2	300	予習、復習必要。課題と小テスト、最終テストで主に評価。
8	MECH3305	Mingxing Zhang	6	2	170	毎週行われるクイズ、実験レポート、最終テストでの評価。
9	MECH4460	Anand Veeraragavan	6	2	80	自習が非常に必要。毎週結構な時間を取って論文を多く読まないといけない。
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスのサイズは授業によって大きく異なる。成績評価に関しては、インターネット上で成績評価の方法が詳しく書かれているので、現地学生はその評価基準に基づいて課題に取り組んでいる。評価基準が明確に書かれている分、とてもシビアに評価される。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 12万円
 - ・住居費：（月額） 6万円 ×（留学月数） 9 ヶ月 = 54万円
 - ・食費：（月額） 4万円 ×（留学月数） 9 ヶ月 = 36万円
 - ・保険料： 10万円
 - ・その他： 授業料：60万円 交際費：20万円 ビザ取得費：5万円
- 合計： 197万円 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。(800字～)

本留学プログラムを考えている皆さんに私の経験から留学をするメリットとデメリットについてお話させていただきたいと思います。

まずは、英語面について。留学をすることによって英語力は今よりも確実に伸びますし、手取り早い方法です。デメリットとしては費用が高い事です。日本で英語を身につけた方が費用は安いですが、日本でも十分ネイティブと会話できる英語力やWriting力は身につくと思います。実際、私の友人のヨーロッパ人は留学前にパソコンでアメリカのドラマを見ることで会話力を身に付け、留学当初から英語でのコミュニケーションが上手でした。また、Writingに関しても、日本に居ながらネイティブの添削を受けられるサービスがあるので、そちらを利用することが出来ます。

次に、思考能力について。本留学プログラムでは現地で授業を受けることができます。UQでの授業はOutput形式(Essayやプレゼンテーション、ディベート等)のものが多く、自分の考えを論理的に相手に伝える練習を多くさせられます。この経験を通して、論理的に考える力が身につくと思います。デメリットは友人から理屈っぽいと言われるかもしれない事です。私が実際、留学から帰国後に言われるようになったので。

さらに、人間的な成長という面に関して。留学では日本でいる時より遥かに多くの困難に遭遇します。例えば、コミュニケーションでの問題や、経験したことが無い事(例えば、料理をしない人の場合、料理)に出会ったりなど。これらの問題を解決していく中で、以前よりも強い自分になれると思います。もちろん日本で生活している上でも、困難に出会うことは出来ます。しかし、もしあなたが現在困難な状況にあまり遭遇する機会が無い環境にいるなら、留学をするというのは、就職前に自分を成長させる一つの良い方法だと思います。

最後に、人生面について。留学を通しての一番の収穫は社会に出る前に自分の人生を変えるような考えと出会えるかもしれないことだと私は思います。留学では様々なバックグラウンド、つまり私たちとは全然違う考え方を持った人達に出会います。そんな人達と話す事によって、考え方の選択肢が広がり、自分の考え方と他人の考え方を比較できるようになります。比較し、自分のものの考え方を客観的に見ることで、自分にとって理想の考え方を選ぶことが出来ます。これは日本にいる時にはなかなか難しいことです。なぜなら、日本だと大多数が日本の常識でものを考えるので、他人の考え方が自分と全然違う！なんて事が少ないからです。もちろん日本でも、色々な人たちに会うことで、その中の少数の自分と全然違う考えを持った人たちに会うことは出来ますが、大きな労力が必要だと思います。就職や大学院進学という自分の人生を決める大きな決断の前に、日本にいる時よりも容易に自分の視野や人生観を広げる事が出来る留学という制度は素晴らしいと思います。

最後に、神戸大学留学生課の皆さん、工学部の教授の方々、そして、本留学を支えて下さったその他の方々に、この場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました！